主催者あいさつ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2023年12月2日

2023年度　あなたとともに考える人権学習集会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　中島純男

土曜日とは言え、ご多用のなか、皆さま方多数ご参加いただきましたこと、主催者を代表して心よりお礼申し上げます。

今朝の朝日新聞、トップ記事は　パーティ券の裏金づくりでした。その隣には、ガザの戦闘開始です。一昨日はオスプレイC2２の墜落事故がありました。なにか落ち着かない世相です。そういう中でも国民・市民の多くの方たちは、毎日毎日、私たちは精一杯、充実した暮らしでありたいと願い、政治や行政を私たち国民本位のものとしていきたいととりくみを続けてきています。その中で成果と矛盾も抱えつつ成立したひとつが介護保険制度だと思います。

「介護の社会化」「家族介護からの解放」という理念で2000年度に導入された介護保険制度は、３年ごとの見直しで来年　2024年度より第9期に入ります。

今日、介護現場は人材不足で過去最悪の倒産・休廃業が進んでいます。しかしこの時期の政府の見直しには、①要介護１・２の高齢者を軽度者とする、②居宅介護支援におけるケアプランの有料化、③介護給付の利用者負担を原則２割、が提案されていました。

国民的な世論の反映でいくらかは回避、次の見直し時期までの延期、などがなされそうですが、厚生労働省は「ヘルパー不足の穴埋め」の対策のひとつとして「訪問・通所」複合型サービスの創設を提案してきています。

政府の基本的姿勢は、保険給付の抑制と受益者負担のいっそうの徹底にあります。発足当初に謳った「介護の社会化」に逆行するものです。

私たちは、毎年この人権週間の時期に人権学習集会を開催してきましたが、今回は上記のような情勢を受けて、「私たちがめざす介護保障のあり方について」をテーマにしたいと思い企画いたしました。

岡山市の高齢者介護にかかわる担当課のみなさんにもご参加いただき、岡山市の第9期介護保険計画の考え方などを聴かせていただきます。また、社会福祉法人「岡山中央福祉会」の井場哲也・理事長さんに「私たちのめざす介護保障」を提起していただきます。

また、いくつかの介護事業所からも現場の介護実践などを報告していただけるように企画しています。これらの講演と報告、そして意見交流を通じて、人間の尊厳についての認識をさらに深めあい、人権確立にむけた今後のとりくみにいかしたいと考えます。

　ご参加いただいた皆様が、ともに次にとりくみにつながる学習集会にしていただきますようお願いして、ご挨拶といたします。